

現地農業情報（沖永良部島・与論島）令和6年10月

（1）沖永良部地区青年農業者会議を開催

10月8日、知名町フローラル館で、沖永良部地区青年農業者会議を開催しました。同会議は、クラブのプロジェクト活動の成果発表や、自らの経営や農業に対する意見発表を行い、クラブ員相互の農業経営に役立てるとともに、地域農業の活性化を図ることを目的に毎年開催されています。今年の発表者は個人プロジェクト2人、共同プロジェクト3人、意見発表2人でした。会議の終わりには、指導農業士らから青年農業者へ激励の言葉があり、出席した青年農業者は、やる気を漲らせていました。



（2）VRを使用した農作業安全研修を開催

農業普及課は10月16日に和泊町中央公民館で、農作業安全研修会を開催しました。農作業事故の理解と知識を深め事故発生防止を目的とした本研修では、講義、農作業事故経験者の体験談DVD視聴の他、沖永良部島で初のVR（バーチャル・リアリティ）を使用した農作業事故体験のコーナーを設けました。研修参加者は、VRを使うことで実際の事故発生に近い体験ができ、農作業安全に対する意識が一層高まったようでした。



（3）さといも単収向上に向けて研修会を開催

10月15日に与論町役場で、さといも栽培研修会が開催され、34人が参加しました。JAからの基本技術説明の後、農業普及課からは、実証実績や疫病に関するアンケート結果を報告しました。3年分のアンケート結果から疫病発生傾向や防除実施状況を説明し、「入れない」「増やさない」「残さない」対策の重要性を指導しました。生産者からは、ドローン共同防除継続の要望もあり、高齢化の進む中、引き続き、産地維持・拡大へ向けて関係機関と連携して支援します。

（4）農業法人化・経営継承研修会および個別相談会を開催

10月8日、知名町フローラル館で「農業法人化・経営継承研修会」を開催し、30人が参加しました。研修会の中では、かごしま農業経営・就農支援センターのスペシャリストが、法人化による意識改革や信用力向上、人材確保等のメリット、円滑な経営継承の具体的な事例等を講演しました。特に若い農業者は積極的に法人化に取り組んでほしいとの内容でした。また、同日に法人化の意向を持つ3戸の個別相談会も実施しました。今後も、管内農家の法人化に向けた経営発展の支援を進めていきます。

